



MERRY CHRISTMAS

宣教子母口キリスト教会 チャペル通信 12月号

節電を意識したイルミネーションが飾られ
 今年もクリスマスが近づいてまいりました。
 クリスマス、といえばプレゼント。家族や
 友人、また今年は被災地の方々へ思いを
 よせておられる方も多いのではないですか。
 クリスマスは、愛・絆のペースがあふれています
 反面、人間相互のこのクリスマスには、
 「わたしには関係ないわ」と思っておられる方も
 おられるかもしれません。

クリスマスは CHRISTMAS

CHRIST(キリスト)MAS(礼拝)です

キリストなしのクリスマスはありえません。

そして、それゆえに、**クリスマスは
あなたのためのクリスマス**なのです。

すばらしい喜びの知らせ

神様がわたしたちを愛している証拠なのです。



神は 実に そのひとりごを
 お手にとりなされたほかに
 世(あなた)を愛された。
 聖書



神はそのひとりごを世につかし、
 その方によって私たちに、いのちを
 得させてくださいました。ここに
 神の愛が 私たちに示されたのです。

2000年前に誕生した赤ちゃんは 永遠の愛の計画の
 中で 預言されたとおりの 神の御子でした。
 神であられる方が 人となられたのです。
 何のために？ 私たちを愛してやまない神様が
 ひとりごをプレゼントしてくださることにより
 私たちに 救いと平安と希望を与えるためです。
 この赤ちゃんは33年間 私たちと同じ地上に住み
 私たちの経験する苦しみ悩みを味わい最後は十字架で
 私たちのすべての罪の罰を身代わりに受けて死なれ、
 三日目によみがえられました。
 クリスマスは実に神様が 私たちを愛しているという
 証拠なのです。
 最後までお読みくださって本当にありがとうございます
 どうか、このクリスマスの時、変わる事のない神様
 の愛を どうぞ受け取ってください。

編集
発行

日本同盟基督教団
 宣教子母口キリスト教会
 〒213-0023 川崎市高津区子母口776
 電話: 044-766-0181 FAX: 044-766-2157
 Eメール: shibokuchi@church.jp
 ホームページ: http://shibokuchi.church.jp
 牧師 小岩井 信
 協力宣教師 W. シグリスト



クリスマスは、今から二千年前、ベツレヘムの家畜小屋で、一人の男の子が誕生した事実から始まりました。永遠のベストセラ―聖書からその様子を見てみましょう。また、驚くべき事にその誕生は、男の子であること・生まれる場所・どんな生涯を送るかなど何百年も前に旧約聖書で預言されていました。

2

トから出た。

1 そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグス

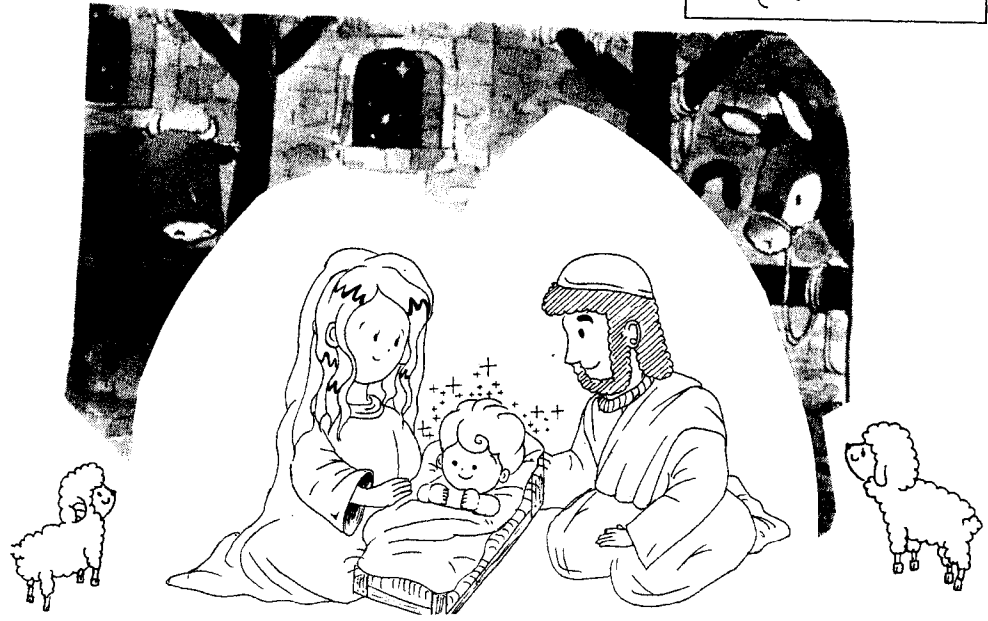
2 これは、クレニオがシリヤの総督であったときの最初の住民登録であった。
3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かつて行った。
4 ヨセフもガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上つて行った。彼は、ダビデの家系であり血筋でもあったので、
5 身重になつていているいなすけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。
6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、
7 男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしなが羊の群れを見守つていた。
9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
10 御使いは彼らに言った。
**おそれることはありません。
今、私はこの民全体のための
すばらしい喜びを知らせに
きたのです。今日ダビデの町で
あなたがたのために救い主が
お生まれになりました。
この方こそ主キリストです。**



いと高き所に、栄光が
神にあるように。
地の上に、平和が、
御心にかがやう人々に
あるように。

12 あなたがたは、布にくるまつて飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのものであります。
13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現れて、神を賛美して言った。



15 御使いたちが彼らを離れて天に帰つたとき、羊飼いたちは互いに話し合つた。「さあ、ベツレヘムに行つて、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。
16 そして急いで行つて、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごを捜し当てた。
17 それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた。
18 それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた。
19 しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。



20 羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰つて行った。